



子育て広場「すくすく」

地域だより 第3号
令和8年2月
さいわいこども園

朝晩はまだまだ寒い日が続いていますが、日中晴れていると日なたはポカポカと暖かく、こども園の子どもたちは元気いっぱい戸外遊びを楽しんでいます。子どもの成長は早く、昨日までできなかったことが今日できるようになる！！今回は動きが活発になる赤ちゃんの事故予防について考えていきたいと思えます。（参考 AKachanと！）

あかちゃんを事故から守りたい！！と思ってもずっと見守り続ける、目を離さないというのは難しいですね。パパやママの注意力だけに頼らなくても事故から赤ちゃんを守る方法を考えていきたいと思えます。

残念ながら子どもの事故は親の見守りだけでは防げません。どんなに気を付けていても注意力は緩みますし、ひとときも目を離さないで生活することは不可能ですね。「こどもから絶対に目を離さないで」というのは実は実現できない対策なのです。



では どうすればいいのでしょうか？
「10秒目をつぶってられる環境」をつくる！！
ことが大事だそうです。



「**変えられないもの**」を変えようとするのではなく、
「**変えられるもの=環境**」を変えて事故を防ぐ！！

眠っているとき

予防のポイント

起きているとき

予防のポイント

睡眠中に起こりやすいのが「窒息」「転落」の事故です。

変えられないものとして

- 赤ちゃんの行動を制限する
- 寝ているあかちゃんの様子を見守り続けること



- 動いても落ちない場所に寝かせる
- タオル、ぬいぐるみ、コードなどを近くに置かない
- 睡眠中はスタイを外す
- かための寝具に寝かせる
- ベッドの柵とマットレス、ベッドと壁の間に隙間を作らない
- 赤ちゃんと大人のふとんは分ける

行動範囲が広がると転ぶ、落ちる事故が増加します。

変えられないものとして

- 落ちたり転んだりしないように言い聞かせて行動を制限する
- 転倒、転落した赤ちゃんを猛スピードで救出すること



- 落ちない場所で寝かせる
- ハイチェア、バウンサー、ベビーカーを使うときは正しくベルトを装着する
- 階段にゲートをつける
- 窓に補助錠をつける
- ベランダの扉は施錠する
- 窓の近くに足がかりになる家具を置かない